

気候情報

2013年2月の日本の天候

- 北・東日本で低温
- 沖縄・奄美では顕著な高温
- 北日本日本海側では所々で記録的な積雪

2月の天気概況

月のはじめに、日本海を発達しながら通過した低気圧に向かって暖かい空気が流れ込み、全国的に顕著な高温となった。その後は、日本付近を数日の周期で低気圧が通過したが、低気圧の通過後は冬型の気圧配置となり、寒気の影響を受けやすかった。このため、北・東日本は低温となり、北日本から西日本にかけての日本海側では曇りや雨または雪の日が多かった。北日本から西日本にかけての太平洋側では、晴れの日が多かったが、低気圧の影響により数日の周期で雨や雪となった。

中旬の終わりから下旬の中頃にかけては、北日本を中心に、冬型の気圧配置となり強い寒気の影響を受けた日が続き、顕著な低温となった。また、北日本日本海側から北陸地方にかけて大雪となり、これまでの降雪と低温により積雪の深さが大きくなっていった所では、青森県の酸ヶ湯で積雪の深さが566 cm となるなど、記録的な積雪となった。

沖縄・奄美では、天気は数日の周期で変化した。月のはじめには顕著な高温となり、その後も南からの暖かい空気の影響を受けた時期があり、月平均気温はかなり高かった。

上旬：前半は低気圧と高気圧が交互に通過し、北日本を除き寒気の影響を受けることが少なく、気温が高い日が多かった。特に2日は日本海を発達しながら通過した低気圧に向かって暖かい空気が流れ込み、全国的に顕著な高温となった。後半は東日本以西でも寒気の影響を受けた日が多かった。6日は、本州の南岸を低気圧が通過した影響で東日本太平洋側でも雪となり、低気圧の通過後は冬型の気圧配置となり、全国的に低温となった。

中旬：数日の周期で日本付近を低気圧が通過し、この影響により東・西日本で降水量が多かった。また、低気圧が通過した後は冬型の気圧配置となり、北日本から西日本にかけて寒気の影響を受け、北日本日本海側でも降水量が多かった。特に後半は北日本を中心に冬型の気圧配置となった日が多く、寒気の影響を受けた日が続き、西日本にかけて気温が低くなった。沖縄・奄美では、天気は数日の周期で変化した。後半に南からの暖かい空気の影響を受けた時期があるなど、気温が高い日が多かった。

下旬：中頃まで北日本から西日本にかけて冬型の気圧配置となった日が続き、日本海側を中心に雪や雨の

日が多く、太平洋側では晴れの日が続いた。また、上空の強い寒気の影響により、北日本日本海側から北陸地方にかけて大雪となり、これまでの降雪と低温により積雪の深さが大きくなっていった所では記録的な積雪となった。旬の終わりは、日本付近を高気圧と低気圧が交互に通過し、27日は東・西日本の太平洋側を中心に雨や雪となった。沖縄・奄美では、寒気の影響は小さく、旬のはじめと終わりに低気圧や前線の影響により雨となったが、そのほかは晴れの日が多かった。

2月の気候統計

月平均気温：沖縄・奄美でかなり高く、平年を1℃以上上回った。一方、北・東日本では低かった。西日本では平年並だった。

月降水量：北日本日本海側、西日本で多かった。一方、沖縄・奄美では少なかった。北日本太平洋側、東日本では平年並だった。

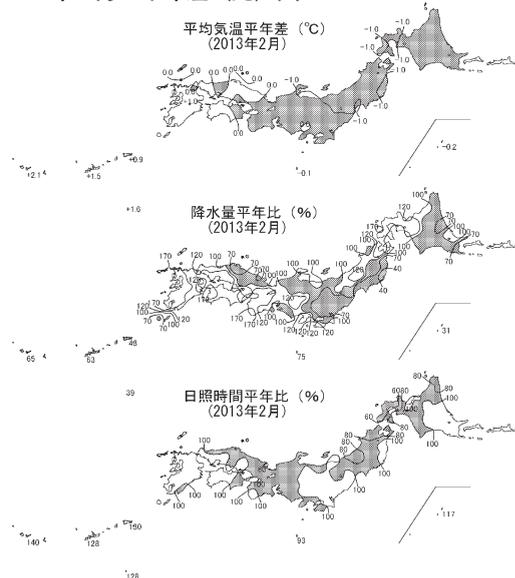
月間日照時間：北日本日本海側で少なかった。一方、沖縄・奄美では多かった。北・東日本太平洋側、東日本日本海側、西日本では平年並だった。

(気象庁観測部情報管理室)

2月の記録(1位更新のみ)

- ・月降水量多い方から (mm)
 - 雲仙岳 308.5
- ・月間日照時間少ない方から (時間)
 - 寿都 20.2
- ・降雪の深さ月合計値多い方から (cm)
 - 浦河 68

2013年2月の平年差(比)図



注) 陰影の部分は、平年より低い(少ない)地域を示す。